



市民協働による道路愛護デー  
みんなで使う大切な道路に感謝  
市民総出で市道などを一斉に清掃活動



◀▲早朝から地域の道路をみんなで清掃する様子

8月は「道路ふれあい月間」。道路は、日頃から地域をつなぎ、また、災害時の連絡としても、とても重要なもの。第一日曜の8月5日は「道路愛護デー」ということで、市内各地で市民協働による最大イベントとして、道路清掃活動が実施されました。



食育推進委員会  
地産地消の給食や体験活動  
で小・中学校の食育を推進



佐藤教育長から委嘱状を受け取る食育推進委員

7月30日、学校給食における食育を推進する小林市食育推進員へ委嘱状が交付されました。委嘱を受けたのは、これまで食育に携わってきた団体や、小学校の教員ら32人。実態調査や、講演会、料理教室、農作業体験などを実施し、食育を推進していきます。



電気設備点検ボランティア  
小林地区電気工業協同組合  
青年部会が体育館で点検

7月28日、小林地区電気工業協同組合青年部会が東方森林体育館と紙屋地区体育館の電気設備をボランティアで点検しました。同部会に所属する8企業が配線や、照明器具の点検などを実施。横山裕一郎部会長は「地元



紙屋地区体育館での電気設備点検の様子

に貢献できれば」と話していました。



小林市で初の「いきいき集落」認定  
地域の活性化に取り組む  
鳥田町地区がいきいき集落



地域の象徴である鳥田町小の大いちょう前にて

8月20日、鳥田町地区が県の「いきいき集落」に認定されました。これは、県が中山間地域の集落の活性化を図るために募集するもので小林市では初の認定。鳥田町小であった認定式で鳥田町地区の夏木政和さんは「認定に恥じぬよう活性化に取り組みたい」と意気込みを話していました。



真方一区が防犯モデル地区  
地域の安心安全は住民で守る  
真方一区が防犯啓発

8月9日、今年度の防犯モデル地区に指定された真方一区へ、防犯協会から防犯啓発ののぼり旗などが交付されました。交付式には地域住民や警察など10人が参加。式後は、警察車両や防犯パトロールカーで地域を巡回し、防犯を呼びかけました。



旗を交付する長崎勇二地区防犯協会事務局長(左)と齋藤保夫真方一区区長(右)



合同河川パトロール  
園児による稚魚の放流も  
ボランティアが御池を清掃



きれいになった川にヤマメを放つ園児たち

毎年行われている小林地区大淀川水系河川愛護対策推進協議会による合同河川パトロールが、8月3日に行われました。所属する小林・高原地区の各漁業協同組合や関連団体の職員ら48人が参加し、高原町御池周辺を清掃。清掃後、並木保育園の園児20人によるヤマメの稚魚4千匹の放流も行われました。



三松中生徒が農作業体験  
農家との交流と体験で  
食と農の大切さを学ぶ

8月3日、三松中の1年生73人が北きりしま田舎物語推進協議会の会員である農家で、農作業の体験を行いました。これは、市の食育実践推進事業の一環。このうち生駒ファーム(富満哲夫代表)では、生徒7人が産みだすの鳥骨鶏の卵を集めたり、ブルーベリーの収穫などを行いました。



ブルーベリー収穫を体験する生徒